

令和3年第2回大仙市議会定例会会議録第4号

令和3年6月14日（月曜日）

議事日程第4号

令和3年6月14日（月曜日）午前10時04分開議

- 第1 議長報告 ・ 例月現金出納検査結果
- 第2 議案第66号 大仙市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第3 議案第67号 財産の取得について（消防用軽四輪駆動小型動力ポンプ付積載車）
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第4 議案第68号 令和3年度大仙市一般会計補正予算（第2号）
(各常任委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第5 陳情第48号 地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第6 陳情第50号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第7 意見書案第32号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書
(質疑・討論・表決)
- 第8 各委員会からの閉会中の継続審査及び調査の申し出について

出席議員（24人）

1番 古谷武美	2番	3番 三浦常男
4番 佐藤隆盛	5番 挽野利恵	6番 秩父博樹
8番 富岡喜芳	9番 本間輝男	10番 藤田和久
11番 佐藤文子	12番 小笠原昌作	13番 小松栄治
14番 後藤健	15番 佐藤育男	16番

17番 児玉裕一
20番
23番 高橋幸晴
26番 高橋敏英

18番 佐藤芳雄
21番 渡邊秀俊
24番 大山利吉
27番 橋村誠

19番 高橋徳久
22番 佐藤清吉
25番 鎌田正
28番 金谷道男

欠席議員（1人）

7番 石塚 柏

遅刻議員（0人）

早退議員（0人）

説明のため出席した者

市 長	老松博行	副 市 長	佐藤芳彦
副 市 長	西山光博	教 育 長	吉川正一
代表監査委員	武田哲也	上下水道事業者 管 理 者	今野功成
総 務 部 長	舩谷祐幸	企 画 部 長	福原勝人
市 民 部 長	和田義基	健康福祉部長	佐々木隆幸
農 林 部 長	渡辺重美	経 済 産 業 部 長	富 樫 真 司
建 設 部 長	今 和 則	観光文化スポーツ部長	伊 藤 優 俊
病 院 事 務 長	今 久	教育委員会事務局長	築 地 高
総務部次長兼 総 務 課 長	伊 藤 公 晃		

議会事務局職員出席者

局 長	谷口藤美	参 事	齋藤孝文
参 事	富 樫 康 隆	主 幹	佐 藤 和 人
主 任	藤 澤 正 信		

午前 9時56分

○議長（金谷道男） おはようございます。

開議に先立ちまして、表彰状の伝達を行います。

去る５月２６日に開催されました第９７回全国市議会議長会定期総会において、佐藤文子さんが議員在職３０年以上、本間輝男君、渡邊秀俊君が議員在職２０年以上、橋村誠君と私が議員在職１５年以上、藤田和久君が議員在職１０年以上の功労により表彰されましたので、その表彰状の伝達を行います。

表彰された皆さんは、演壇の前までお進みください。

【表彰状伝達】

○議長（金谷道男） 以上をもちまして、表彰状の伝達を終了いたします。

なお、故橋本五郎議員も在職３０年以上の功労により表彰されております。後日、ご遺族の方に表彰状を伝達いたします。

午前１０時０４分 開 議

○議長（金谷道男） これより本日の会議を開きます。

欠席の届け出は７番石塚柏君であります。

○議長（金谷道男） 本日の議事は、議事日程第４号をもって進めます。

○議長（金谷道男） 日程第１、この際、諸般の報告をいたします。

例月現金出納検査結果が市監査委員から提出されましたので、別添お手元に配付のとおりに報告いたします。

○議長（金谷道男） 日程第２、議案第６６号及び日程第３、議案第６７号の２件を一括して議題といたします。

本２件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長１４番後藤健君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） １４番。

【１４番 後藤健議員 登壇】

○総務民生常任委員長（後藤 健） おはようございます。

本会議第３日、当委員会に審査付託となりました事件について、去る６月７日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求め、慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

議案第 66 号「大仙市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」につきましては、当局の説明に対し、質疑において「このたび新設される機能別団員の位置付けと、その活動内容はどのようなものか。」との質疑があり、当局より「当該団員は、市長が定める特定の活動に従事する団員という位置付けで、音楽隊として演奏を通じ、消防団員の募集活動や市民への防火・防災の広報活動を行うほか、大規模災害時等においては避難所運営などの後方支援に当たるものとしている。」との答弁がありました。

同じく、「この機能別団員である音楽隊には、楽器演奏の技量など、入団するための試験等はあるのか。」との質疑に対しては、「応募資格としては、中学校・高校などで演奏活動をしていた経験者を想定しており、応募者多数の場合は、選考も検討している。楽器のパートによって、それぞれ必要とされる演奏の技量や人数枠も異なることから、今後、消防団と協議してまいりたい。」との答弁がありました。

その他、質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第 67 号「財産の取得について（消防用軽四輪駆動小型動力ポンプ付積載車）」につきましては、当局の説明に対し、「このたび、トーハツ株式会社製のポンプ車を導入するとのことだが、ポンプ車には同社製以外にどのようなメーカーがあるのか。」との質疑があり、当局より「同社製以外には、シバウラ社製のポンプ車がある。」との答弁がありました。

その他、質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（金谷道男） ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 質疑なしと認めます。

【 14 番 後藤健議員 降壇 】

○議長（金谷道男） これより討論を行います。討論の通告がありませんので討論なしと認めます。

これより議案第 66 号及び議案第 67 号の 2 件を一括して採決いたします。本 2 件に関する委員長報告は原案可決であります。本 2 件は、委員長報告のとおり決することに

ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） ご異議なしと認めます。よって本２件は、原案のとおり可決されました。

○議長（金谷道男） 日程第４、議案第６８号を議題といたします。

本件に関し、各委員長の報告を求めます。はじめに、総務民生常任委員長１４番後藤健君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） １４番。

【１４番 後藤健議員 登壇】

○総務民生常任委員長（後藤 健） ご報告いたします。

議案第６８号「令和３年度大仙市一般会計補正予算（第２号）」のうち、当委員会に付託された所管する予算につきましては、はじめに、総合防災課所管の災害に強いまちづくり事業費の説明に対し、質疑において「災害時等に利用できるトイレトレーラーを導入することとしているが、導入した後の維持管理はどのように行っていくのか。」との質疑があり、当局より「排水ポンプ車と同様に、保管及び維持管理は、地元業者に委託したいと考えている。」との答弁がありました。

また、この答弁に対し委員から「業者に委託した後も、担当の方で管理状況を確認していてもらいたい。」との当局への意見がありました。

次に、ＤＸ（ディーエックス）推進課所管の電子決裁導入事業費の説明に対し、質疑において、「電子決裁機能の導入に当たり、その業務を委託する先はどのような業者になるのか。」との質疑があり、当局より「導入は、現行システムへの機能追加であることから、現在のシステム管理業者を委託先に設定することとしている。」との答弁がありました。

次に、生活環境課所管の共同飲用水道施設整備費補助金の説明に対し、質疑において「事業実施に当たり、財政負担を少なくするようなやり方は当然に考えなければならない、補助金の審査時には、当該工事内容の効率性とその適正さについてもしっかり見ていただきたいと思うが、どうか。」との質疑があり、当局より「補助金の交付額決定の際には、市の工事基準額等も参考にしている。適正な工事価格について審査を行い、補助額

を決定してまいりたい。」との答弁がありました。

その他、質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（金谷道男） ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 質疑なしと認めます。

【14番 後藤健議員 降壇】

○議長（金谷道男） 次に、企画産業常任委員長24番大山利吉君。
（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 24番。

【24番 大山利吉議員 登壇】

○企画産業常任委員長（大山利吉） ご報告いたします。

今期定例会、本会議第3日に当常任委員会に審査付託となりました事件につきまして、去る6月7日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

議案第68号「令和3年度大仙市一般会計補正予算（第2号）」のうち、当委員会に審査付託となりました所管する補正予算につきましては、はじめに、企業立地推進課所管の企業誘致対策費の内容説明に対し、質疑におきまして委員から「コロナ禍の状況により、本社機能を地方に移転することを検討している企業が増えてきていることを好機と捉え、今回のアンケート調査を実施するに当たっては、本社移転を検討しているかという項目を付け加え、調査結果を基に、大学卒業後の就職先につながる雇用の場の確保に努めていただきたい。」との質疑があり、当局からは「既に本社移転を検討している企業から相談を受けている事例もあり、このアンケート調査を活用し、新企業団地を積極的にPRするとともに、本社移転の意向を把握できる項目を追加し、誘致活動につなげてまいりたい。」との答弁がありました。

次に、観光振興課所管の観光・物産デジタルPR推進事業費（新型コロナウイルス対策）について、委員から「新型コロナウイルスの影響により、県境をまたいだ往来が制限され、首都圏など大都市での観光PR及び物販の機会を失っている中で、地上波によるPR動画の放送時間帯は決まっているのか。また、PR用段ボールの製作については、

リピーターの創出を図るのが目的であれば、お届けする地元特産品について、どういう工程で、どんな人たちが、どのような思いで作ったのかという、ストーリーを伝えられる形に検討していただきたい。」との質疑があり、当局からは、「PR動画の放送時間帯については、おおむね15分程度で県内及び大都市圏での放送を想定しており、詳細は今後プロポーザルにより決定されることとなる。また、PR用段ボールの製作については、生産者のストーリーを届けることを意識し、今後、観光物産協会とも協議していきたい。」との答弁がありました。

当局からの内容説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（金谷道男） ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 質疑なしと認めます。

【24番 大山利吉議員 降壇】

○議長（金谷道男） 次に、教育福祉常任委員長19番高橋徳久君。

（「はい、議長、19番」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 19番。

【19番 高橋徳久議員 登壇】

○教育福祉常任委員長（高橋徳久） 本会議第3日に当委員会に審査付託となりました事件について、去る6月7日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

議案第68号「令和3年度大仙市一般会計補正予算（第2号）」のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、はじめに、子ども支援課所管の法人立保育所補助金について、委員から「なかせんワイワイらんの雨漏りはいつ頃から始まっているのか。長期に及んでいるのであれば、内装も傷み、それに対応する工事が必要になるのではないか。」との質疑があり、それに対して当局からは「平成17年の建設から10年程経過したころから雨漏りが発生しており、その範囲が年々広がってきていることから、今回、防水工事のほかに内装工事なども行うこととしている。」との答弁がありました。

次に、教育指導課所管のキャリア教育推進「総合的な学力育成」事業費について、委

員から「いのちの教育あったかエリア事業は、平成２９年に神岡小学校と平和中学校で実施しており、今回は横堀小学校と高梨小学校及び仙北中学校の仙北地域の小・中学校で実施予定であるが、何か計画があって実施している事業なのか。」との質疑があり、それに対して当局からは「県の委託事業であり、毎年県北・中央・県南と３ブロックに分かれてそれぞれ割り当てが指定される。今年度は大仙市であるが、前年度は県南のほかの市町村に割り当てられており、平成２９年度も大仙市に割り当てがあり、その際には神岡地域ということで指定して行った事業である。」との答弁がありました。

ほかに質疑はありましたが、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決定した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（金谷道男） ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 質疑なしと認めます。

【１９番 高橋徳久議員 降壇】

○議長（金谷道男） 次に、建設水道常任委員長１５番佐藤育男君。

（「はい、議長、１５番」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） １５番。

【１５番 佐藤育男議員 登壇】

○建設水道常任委員長（佐藤育男） 今次定例会、本会議第３日に当委員会に審査付託となりました事件につき、去る６月７日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

議案第６８号「令和３年度大仙市一般会計補正予算（第２号）」のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、道路河川課所管の橋りょう長寿命化対策事業費の補正内容の説明に対し、委員から「今後、社会資本整備総合交付金が追加で配分される可能性はあるのか。」との質疑があり、当局からは「昨年度３月補正予算で大分前倒しで配分されており、３月補正分と今回の補正後の予算分を合わせると、予算ベースで、１７８．１パーセントの配分となっているので、おそらく今後の追加配分は無いものと考えている。」との答弁がありました。

その他、質疑はありましたが、当局からの補正内容の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した

次第であります。

以上で、報告を終わります。

○議長（金谷道男） ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 質疑なしと認めます。

【 1 5 番 佐藤育男議員 降壇】

○議長（金谷道男） これより討論を行います。討論の通告がありませんので討論なしと認めます。

これより、議案第 6 8 号を採決いたします。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（金谷道男） 日程第 5、陳情第 4 8 号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長 1 4 番後藤健君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 1 4 番。

【 1 4 番 後藤健議員 登壇】

○総務民生常任委員長（後藤 健） ご報告いたします。

当委員会におきまして継続審査としておりました、陳情第 4 8 号「地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書」につきましては、先の会期中における審査、並びに閉会中に所管事務調査を行い、慎重に審査・調査してまいりました。

今回の審査におきまして、委員より「地方たばこ税は、市の自主財源で、一般財源として様々な行政サービスに活用される財源であり、たばこ対策に特化した目的税化ということは認めがたい。また、喫煙による健康への影響は、様々な観点から検証されており、公共喫煙場所の増設と維持を積極的に進めることは、世界の流れにも逆行し、誤解を招く恐れがある。よって、本陳情には賛成できない。」との意見がありました。

一方、同意見に賛同しつつも、「生産者や販売店など、たばこで生活をしている方々の売り上げを考えれば、陳情者の気持ちはくみ取りたい。」との意見もありました。

また、「採択とはできないが、喫煙する方もいることなので、行政の仕事の一つとして、受動喫煙しないような環境を整備し、喫煙者も非喫煙者も共生していけるような配慮をすることは必要である。」と市行政に対して意見もありました。

挙手による採決の結果、本件を採択することに賛成する者はなく、本件は不採択すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（金谷道男） ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 質疑なしと認めます。

【 1 4 番 後藤健議員 降壇】

○議長（金谷道男） これより討論を行います。討論ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 討論なしと認めます。

これより、陳情第 4 8 号を採決いたします。この採決は起立をもって行います。

なお、確認のため、起立された議員はそのままお願いいたします。

本件に対する委員長報告は不採択であります。本件は、採択と決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者 0 人 起立）

○議長（金谷道男） 起立なしであります。よって本件は、不採択とすることに決しました。

○議長（金谷道男） 日程第 6、陳情第 5 0 号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長 1 9 番高橋徳久君。

（「はい、議長、1 9 番」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 1 9 番。

【 1 9 番 高橋徳久議員 登壇】

○教育福祉常任委員長（高橋徳久） ご報告いたします。

陳情第 5 0 号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2 0 2 2 年度政府予算に係る意見書採択の陳情について」につきましては、願意を妥当と認め、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は採択すべきものと決定した

次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（金谷道男） ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 質疑なしと認めます。

【 19 番 高橋徳久議員 降壇】

○議長（金谷道男） これより討論を行います。討論はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 討論なしと認めます。

これより陳情第50号を採決いたします。本件に関する委員長報告は採択であります。
本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） ご異議なしと認めます。よって本件は、採択することに決しました。

○議長（金谷道男） 日程第7、意見書案第32号を議題といたします。

意見書案第32号は、教育福祉常任委員長から提出されております。

お諮りいたします。意見書案第32号は、会議規則第37条第3項の規定により、提案理由の説明を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） ご異議なしと認めます。よって本件は、提案理由の説明は省略することに決しました。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 質疑なしと認めます。

ただ今、議題となっております本件は、会議規則第37条第2項の規定により、委員会には付託いたしません。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） 討論なしと認めます。

これより意見書案第32号を採決いたします。本件は、原案のとおり可決することに

ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。ただ今、議決されました意見書案第３２号について、その条項、字句、数字、その他整理を要するものにつきましては、その整理を議長に一任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） ご異議なしと認めます。よって、条項、字句、数字、その他の整理は、議長に委任することに決しました。

○議長（金谷道男） 日程第８、各委員会からの閉会中の継続審査及び調査の申し出についてを議題といたします。

各委員長から審査及び調査中の事件につき、会議規則第１０４条並びに第１１０条の規定により、お手元に配付したとおり閉会中の継続審査及び調査の申し出がありました。

お諮りいたします。各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査及び調査とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（金谷道男） ご異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出のとおり決しました。

○議長（金谷道男） ここで、吉川教育長から発言の申し出がありますので、これを許可します。吉川教育長。

【吉川教育長 登壇】

○教育長（吉川正一） まずもって、本日はこのような場を頂戴し、誠にありがとうございます。

平成２７年７月に就任以来、２期６年にわたりまして、市の教育を預かるという大役を仰せ付けりましたが、不自由な面も多々あったと思います。

しかしながら、議員の皆様をはじめ学校関係者、そして市民の皆様方からご理解とご協力のおかげで、何とか務めることができました。これまでの皆様からのご支援に対し

まして、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

これまで、禅語にもあります「^{かんきやつか}看脚下」という言葉を大切に、今、そして、これから何が求められるかを自分なりに考え、進めてきたつもりであります。

特にふるさと教育とキャリア教育をベースにした地域活性化に寄与できる子どもの育成を目指し、生涯学習部や支所等との連携を強めながら進めました「だいせん教育メソッド」、その推進ツールとなった「ふるさと博士」の取り組みなどを通して、少しずつではありますが、ふるさとの良さを知り、ふるさとに誇りを持つ子どもたちが増えてきたのではないかと感じております。

日々変化する社会の流れに対応し、自然災害やコロナ禍にも負けない子どもたち、そして市民をつくっていくことが、我々の使命と思っております。

今後も新しい教育長のリーダーシップの下、大仙市に住みたい、大仙市で子育てしたいと思えるまちづくりに貢献できる教育が、一層進められることを期待しております。

結びに、大仙市のますますの発展と、子どもたちの健やかな成長をご祈念申し上げ、退任の挨拶に代えさせていただきます。

本日は貴重なお時間を頂戴し、ありがとうございました。（拍手）

【吉川教育長 降壇】

○議長（金谷道男） 吉川教育長におかれましては、教育長として6年にわたり、大仙市の教育発展に尽力され、大きな成果を上げられました。ここに吉川教育長のご功績とご苦勞に対しまして、議会を代表して感謝申し上げますとともに、今後は健康に留意され、ご壮健で、今後とも我々に陰に陽にご指導賜りますようお願いを申し上げます。

長い間、本当にありがとうございました。（拍手）

○議長（金谷道男） 以上で、本定例会の日程は全部終了いたしました。

○議長（金谷道男） これにて令和3年第2回大仙市議会定例会を閉会いたします。

長期間にわたりご苦勞様でした。

午前10時34分 閉 会

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

大仙市議会議長

議 員

議 員

議 員